

こんにちは。

日本包装管理士会
会長 古平 篤

日本包装管理士会の皆様にはお元気でお仕事にお励みのこととご推察申しあげます。

2024年6月25日の第58回定時総会におきまして会長に就任いたしました、第25期の古平 篤でございます。いままで、関東支部長と副会長を兼任しておりましたが、山田会長より引き継ぎまして会長と関東支部長を兼任させていただきます。よって、ここに、一言挨拶をさせていただきます。

小生は、包装材料の設計、製造メーカーに入社し、主にプラスチックの食品容器の設計開発や品質管理および発泡スチロール等の緩衝設計や断熱設計に携わってきました。その後工場では品質管理に携わった後、新しい分野の開発として、野菜を室内で、温度や炭酸ガス濃度、照明（蛍光灯やLED）を調整して水耕栽培で野菜を生産する研究開発等を行いました。また、工場管理等ではISO22000の審査員の資格を持っております。現在では包装と関係ない職務に就いていますが、いままでの経験を活かし、会長として職務を全うしていきたいと思っております。

趣味については、デジカメを使用して花の写真や風景の写真をよく撮ります。1年に1回、写真の会のグループで写真展を開催するのが楽しみです。また、旅行するのが好きで日本国内、海外に旅行しました。関東支部では、海外の包装協会とコンタクトして、海外の展示会や海外の協会との親睦や勉強会などを開催したこともありました。また、英語や中国語を用いて海外の方と会話することも趣味の1つです。

3年間位はコロナの影響もあり、海外に出掛けることができませんでした。また行きたいと思っております。コロナも5類になり街の活気が戻って来ております。私も通勤電車で勤務先まで通勤しておりますが、平日はいつも満員で、事業所の近くの新宿、池袋の繁華街は賑わっております。

コロナが5類に移行後、皆さんの生活の中でいろいろなことが変わりました。私たちに身近な所では、理事会やセミナーの開催方法が変わったと思っております。いままでは、対面で理事会やセミナー等を行っていましたが、いまでは、WEB等での開催が多くなってきています。便利にはなりましたが、反面、人との出会いが少なくなっています。今後は、WEBと対面方式でセミナー等を開催したいと思っております。現在では情報化の時代ですが、いろいろな情報で溢れております。会員様には、現在にマッチした情報を皆さんに届けたいと思っております。また、これが必要だと思える情報をお届けいたします。

終わりに会員皆様方の健康とますますのご活躍を祈念し、結びの挨拶と致します。最後になりましたが、山田前会長のご活躍に敬意と感謝を申し上げます。また、皆様のご繁栄とご健勝を祈り就任の挨拶と致します。皆さん、よろしくお願いたします。

PACKGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす
日本包装管理士会 会報
No.137ipp
news

《INDEX》

日本包装管理士会 新会長挨拶	1
総会 決議報告	2
支部だより	6
本部だより	19

ipp news
2024年8月26日発行
編集人／道明 誠
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

日本包装管理士会 定時総会

第58回定時総会報告

2024/07/24
事務局 井上伸也

第58回日本包装管理士会定時総会は2024年6月25日(火)に、会場参加（対面方式）とWeb参加および議決権投票ハガキによる個別審議参加の3方式の併用で実施。ご来賓に技術士包装物流会 青木規明会長、日本包装コンサルタント協会 白倉昌会長をお迎えし、ご挨拶をいただきました。そして、総会後には情報交換会も開催することができました。会員は、会場参加8名、Web参加者7名で、投票ハガキ回収数は228通となり、総会成立のために必要な104名を上回る数でしたが、参加率は42%とやや低調でした。

議決権行使のハガキは6月20日までに投票（投函）していただくことをお願いし、6月25日午前中事務局到着分までを総会開会時の各種報告に使用し、6月末日までの事務局受け取り分を有効として最終集計を行い、議事録に記載しました。また、会場参加者およびWeb参加者の投票は総会当日の意思表示を優先した集計としました。

定款の第17条に定足数「(1) 総会は、出席者数の合計が全会員数の1/5以上の出席で成立する。(2) 書面、または代理人による表決者は出席したものとみなす。」となっており、本総会は定款に則り成立しました。結果は以下の通りです。

回収された議決権行使ハガキの詳細内容

1. 会員数：540名
2. 投票数：228票 投票率=42.2% （内訳：有効票=225票、無効票=3票）
3. 有効票：225票 有効票の内訳は、議決権行使・賛成=85票、委任票=140票
4. 議決権行使結果 （委任票140票は賛成票として集計）
 - 1号議案 2023年度事業活動報告及び収支決算報告 ⇒ 賛成225票で承認
 - 2号議案 監査報告 ⇒ 賛成225票で承認
 - 3号議案 2024年度事業活動計画(案)及び収支予算(案) ⇒ 賛成225票で承認
 - 4号議案 IPP再構築委員会WG中間報告 ⇒ 賛成225票で承認
 - 5号議案 新役員承認の件 ⇒ 賛成225票で承認

技術士包装物流会会長 青木規明様（写真右）
日本コンサルタント協会会長 白倉昌様（写真左）



IPP新会長
古平 篤氏挨拶（写真右）



総会後の情報交換会

今年度は役員改選の年でした。2016年から4期8年の間、会長としてIPPをリードしていただいた山田会長が退任され、古平篤新会長へのバトンリレーが行われました。また、IPP News編集委員や包装界・十大ニュース選定委員など委員会活動に参画し活躍されていた、羽馬友子さん（51期）が新理事に就任されました。IPPにも新しい流れができることを期待してください。また、道明誠さんが副会長に就任され、広報をはじめ、全分野に目配りをしていただけることになりました。残念ながら、荒井拓哉理事、井上伸也理事、福野壽史監事、荒牧哲監事が退任され、役員から離れることになりました。監事後任には山田孝志前会長が就任されました。交代のなかった理事を合わせても役員は11名と少数です。役員会などもWeb使用の会議に移行しており、遠隔地からの本部活動への参加も可能となっておりますので、理事として運営に参画していただける方をお待ちしています。期の途中でも理事への立候補は可能です。事務局までご連絡ください。

前年に続き議決権行使ハガキが100%回収されなかったことは残念に思いますが、3方式併用を受け入れていただいた会員各位には大変感謝いたしております。コロナ禍を契機として始めたこの方式ですが、総会方式として定着したと考えております。これからもご理解ご協力をいただけるようお願いいたします。

総会会場およびWeb配信会場としては、「アットビジネスセンター池袋駅前別館603室」を使用いたしました。会場はリアル参加者を想定し、余裕のある広さとして定員30名の部屋を準備し、Web参加者には会場保有のNET高速回線を使用して配信を行いました。IPPの保有機器不足と、まだまだシステムや機器を使いこなせていないことを反省しております。

◆第47回 西日本支部 定時総会

第47回日本包装管理士会西日本支部定例総会は、対面にて、5月18日に開催いたしました。会員の方には、従来と同様に活動報告・決算報告を会員の皆様にEメールまたは郵便で送付し、委任状を返送していただき、委任状の返送数が会員の過半数を超えました。この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。

本年度の事業計画は、以下の通りです。

- ・役員会：年4回 ※対面にての開催を予定
- ・研究会、講演会、見学会、交流会等：JPI西日本支部と共催

役員は昨年度に引き続き担当制とし、以下の通り選任されました。

- ・支部長：藤生 廣来（総括）
- ・副支部長：末松 洋亮（IPPニュース・企画等）
- ・副支部長：森永 浩史（JPI西日本支部事務局長・企画）
- ・事務局長：八田 彰（事務局）
- ・理事：中村 格勇（出納・企画等）

今年度も引き続きJPI様との協力関係のもと、講演会、見学会、交流会を対面で開催できるよう準備を進めるとともに、インターネットを利用した情報発信等で、できる限り充実した事業企画を目指していきます。また、関西支部とも行事に関する情報共有化を図ることで、会員の行事への参加を促す活動を行っていきます。

西日本支部 総会

関西支部 総会

◆関西支部定時総会

2024年6月7日 15:50～16:50
大阪市立総合生涯学習センター

23年度活動報告・収支決算及び監査報告、2024年度活動計画・予算、役員選出について承認いただきました。

支部会員数が減少する中、厳しい予算ですが、昨年同様に事業を行いながら、好評をいただいている工場見学&セミナーの開催増、新たにテクニカルセミナーを行います。

メールマガジン発行の継続、QRコードによるHP閲覧数増加などにも取り組み、支部活動のPR強化を行います。

また長崎美智子（46期）が新たに副支部長に就任、支部長1名、副支部長2名体制になりました。



総会の様子



総会の様子

中部支部 総会

【第55回中部支部定期総会（書面審議）】

2024年度の「第55回中部支部定期総会」について、前年度より総会の目的でもある各年度の事業内容を広く確認・審議いただく形が望ましいとの判断から、全支部会員のお手元に議案書が行き渡る形の「書面審議」による定期総会の開催としており、中部支部運営委員会での検討の結果、今年度も同様の方式にて実施いただくことといたしました。中部支部運営委員において事前に審議・承認をいただいた「第55回中部支部定期総会議案書」を中部支部会員各位に郵送した上で、「審議内容同意書」を返送いただく形での手続きをもって総会での審議に代え、多数の同意をもって各議案が承認されました。

関東支部 総会

第52回関東支部定時総会に関するご報告

関東支部長 古平 篤（25期）

関東支部第52回定時総会は、6月25日13時30分～14時30分まで、池袋の駅の近くにあるアットビジネスセンター707号室で開催され、同時にWEBでも配信されました。また、e-mailでも関東支部の会員に送信し、議決権行使は今回はe-mailで確認しました。会場には参加者9名あり、WEBでの参加者もありました。総会に参加された皆様、誠にありがとうございました。回収させていただいた議決権行使のe-mailおよびはがきの結果は次の通りです。

関東支部登録会員225名の1/5、すなわち45名以上であることから、本総会は成立しました。

定足数：45名 会員数225名の有効定足数は定款17条により会員の1/5＝45名
投票数：53票 e-mailおよびはがき投票・当日会場、WEBでの参加投票
有効票：53票 e-mailおよびはがき投票・当日会場、WEBでの参加投票
（無効票0票）
（内訳： はがきでの賛成票7票、
当日参加による賛成票9票、e-mailでの賛成票37票）

1号議案＝2023年度事業活動報告及び2023年度収支決算報告承認の件
⇒承認されました。

2号議案＝2023年度監査報告
⇒承認されました。

3号議案＝2024年度事業活動計画（案）及び収支予算（案）審議の件
⇒承認されました。

中部支部 だより



【2024年度包装設計の基礎講座】

2024年5月16日（木）・17日（金）の2日間、JPI中部支部との共催で「2024年度包装設計の基礎講座」を愛知県技術開発交流センターで開催いたしました。33名の受講者が参加し、輸送包装に関する各種専門講義のほか、段ボール箱の製作実習や試験設備の見学を含む全プログラムについて、講師各位・会場関係者のご協力のもと無事に開講することができました。



【2024年度事業計画について】

2024年度の事業計画に関して、前年度に引き続きJPI全支部共同のオンライン講演会（ウェビナー）として開催される「JPI WEBフォーラム」のうち、JPI中部支部で企画・運営を担当するウェビナーについて、IPP中部支部との共催を継続し、IPP中部支部の所属会員も引き続き参加費無料にてご参加いただけます。

「JPI WEBフォーラム」以外の研修事業（包装技術講習会・日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会・包装技術研究大会中部大会）については、従来通りJPI中部支部と共同で企画運営を進め、中部支部の独自事業として対面・オンラインどちらでの聴講も可能となる形式にて実施を予定しており、詳細については開催案内パンフレットにて皆様にご案内申し上げます。

前年度より再開することのできた賀詞交歓会等の会員交流事業についても同様の形式で実施を予定しており、引き続き会員の皆様のニーズに沿った事業運営が行えるよう、支部長をはじめとする中部支部運営委員一同・事務局が一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともご理解・ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

西日本支部 だより

西日本支部 副支部長
末松洋亮（25期）

◆JPI西日本支部との共催

JPI西日本支部との共催事業で以下の発表会を開催しました。

- ① IPPラウンジ 景品表示法（10月1日施行）
（日程）2023年8月17日（木）
- ② IPPラウンジ 隣国動向（半導体産業と日本）
（日程）2023年10月26日（木）
- ③ IPPラウンジ 2023年包装業界10大ニュース解説
及び2024年法令改正・イベント確認
（日程）2024年1月18日（木）
- ④ 研究発表会「東北・西日本支部共催」
（日程）2024年2月22日（木）

◆第58期包装管理士合格者

第58期の合格証書授与式（合格者27名）

（日程）2023年11月2日（木）

（1）講演発表（5名）

- | | |
|--------------------|-----|
| ①段ボール開発 ㈱久原本家食品 | 花田氏 |
| ②環境とユーザー TOPPAN(株) | 中島氏 |
| ③口栓キャップ TOPPAN(株) | 塩塚氏 |
| ④軟包装フィルム 丸東産業(株) | 岡氏 |
| ⑤デジタル印刷 福岡パッケージ(株) | 川口氏 |



第58期論文発表の様子

（2）交流会：西鉄イン福岡 1階ウォーターサイト オットーにて

◆役員会・交流会

（日程）2024年2月24日（土）

JPI西日本支部協賛継続

東北支部 だより

東北支部 支部長
鈴木 雅彦（38期）



あっという間に半年が過ぎ、今年も梅雨空を見ることなく、暑い暑いと言って過ごしています。異常気象という言葉で済ませて良いのか、地球の将来が心配です。コロナの扱いも緩和され、日常が戻ってきたようですが、私の地域では静かに感染者が増えているようです。後遺症で入院治療が必要になった人も現れましたので、引き続き手洗いや消毒が重要です。また、円安や不安定な世界情勢により、これからの見通しが難しくなっていると感じています。昨年も同じようなことを書いていましたね。

東北支部では、6月11日にTKP仙台会議室を使って総会を開催しました。対面での開催となり、事業報告や今年度の運営について審議をいただきました。また、今年度は理事改選も承認いただき、新たな体制での運営をスタートさせていただきます。特に課題となるのは、会員の皆様にどのように情報提供していけるか、また望まれている事業運営ができていますかです。東北支部では毎年15名程度の包装管理士が誕生しており、横のつながりだけでなく縦のつながりも作り、業界の発展に寄与したいと思っています。皆様のご協力を今後ともよろしくお願い致します。

総会終了後、居酒屋にて会食を開催しました。最近は個室型の店舗が増えたおかげで、久しぶりの懇親会でも会員の皆様の近況や市場動向について話が弾みました。会話の時間を持てたことは大変楽しかったです。管理士会での人のネットワークを有効に活用し、お互いの研鑽の場にする事の重要性を再認識しました。



東北支部も39年度がスタートしました。管理士会会員の皆様へのサービスをもう一度考え直すタイミングだと考えています。広い地域ですが、意外と狭い商圈の中でこれからの包装に求められることは何か、いま何を活動しなければならないのかを皆さんでもう一度考えたいと思っています。消費者包装や輸送包装の分野でもっと交流を深め、視野を広く持って環境問題を考えたいと思います。2024年問題も包装で改善できることがたくさんあります。今、私たち包装管理士の力が求められていると強く感じています。今年度は工場見学会（研究施設）も計画しており、またコロナ禍で学んだWebの活用を通じて地域の距離感を気にせず活動できるようにイベントも実施したいと考えています。積極的な活動計画を会員の皆様に提供していきます。再来年には全日本包装技術研究大会が仙台で開催される計画もあり、支部を超えた活動としてイベントを計画していきます。これからも東北支部をよろしくお願い致します。

関西支部 だより

木野元朝幸（36期）

関西支部ではIPP再構築の動きを受け、会員の皆様にメリットを感じてもらえる様に工夫を重ねています。従来のセミナー、W会との合同セミナー、工場見学会&セミナーに加え、会員への新たな情報発信としてメールマガジンの発信も開始しました。また、他支部とのセミナー共催を図り、情報発信の拡大やセミナーの充実に取り組みます。

1、活動報告

◆工場見学会&セミナー

2023年11月16日 14:00～17:00

キューピー株式会社神戸工場

① 工場見学

② セミナー

「キューピーの環境配慮の取り組み」

キューピー(株) 和手憲幸様

(リモート開催)



集合写真

①工場見学

キューピー(株)神戸工場は西日本に供給するマヨネーズ・ドレッシング類の生産拠点として2016年10月から操業を開始しており、製造工程の自動化・機械化と製品物流の効率化に取り組んでおられます。

キューピー(株)では、少品種・大量生産を行うマザー工場と多品種・少量生産を行うサテライト工場があり、神戸工場はマザー工場です。自動化や新技術の他、従業員が「夢多(ムダ)」採り作業を行い、人材を活用しながら、生産性の向上を図っています。

「全量保証」・機械を止めない「予兆診断」・モノを滞留させない「清流化」が印象的でした。

また、マヨネーズの容器は工場内で生産し、供給の安定化や配送効率の向上を図っていました。



セミナー（リモート）

②セミナー

品質保証一部 和手憲幸様より「キューピーの環境配慮の取り組み」を講演いただきました。

キューピーではプラスチック削減・再利用に高い目標を立てて取り組んでおり、CLOMAにも参加しています。

最初にReduceに取り組み、段ボールの仕切廃止やCフルート化、ガラス瓶やプラスチック容器・キャップなどの軽量化に取り組み、徹底的に余分なモノを落としている。マヨネーズやドレッシングは、使い切るまでに時間がかかり、洗浄などの必要があるため商品を販売してから容器を回収するまで時間がかかるため、Reduceに重点を置いていました。

しかし、Reduceも限界があり今後はバイオマス、紙、リサイクル材など素材を転換しRenewalに重点を置いています。また、包装メーカーや同業他社・異業種の会社と共同にも取り組んでいる。全国段ボール工業組合連合会などが取り組んでいる段ボールインキ削減にも賛同・協力されているとのことでした。

キューピーの環境配慮の取り組みの目標の高さと今後の環境配慮の活動の参考になる講演でした。



セミナー後の交流会

◆技術士包装物流会関西支部研究会で講演

2023年12月16日 17:00～19:00
KITENA新大阪

「多様なニーズに合わせた最適な段ボール提案の取り組み
～セツカートンの心までをも包むパッケージ」

関西支部運営委員会（セツカートン㈱）
木野元 朝幸



小林講師

◆第51回ミニセミナー

2024年2月28日 17:00～19:00
大阪市立総合生涯学習センター

- ①「食品包装技術の脱ガラパゴス化」
（一社）日本食品包装協会 小林光様
- ②「ニューノーマル時代のライフスタイル」
TOPPAN㈱ 秦弘信様

小林様より、日本の優れた食品加工技術や包装技術が海外では普及せず「ガラパゴス化された製品や技術」、反対に脱ガラパゴス化した技術について説明いただき、世界標準を視野に入れた法律の整備や日本人が海外の現地の方々との真剣なコミュニケーションを図る必要性を教えていただいた。

ガラパゴス化した事例としては、電子レンジ対応包装、脱ガラパゴス化の例としては、レジ待ち解消などで使われているRFIDがある。

秦様から4年に及ぶコロナ禍の生活は私たちの意識・構造にどのような影響を与えたのか、そして今後どう変化するのかを分析に基づき分かり易く説明いただいた。スーパーよりドラッグストアの購入が増えている、口腔衛生や水回りの清掃に関する購入が増加、エコ意識に関しては実行力が伴っていないなど。今後市場を牽引するのは、ストレスフルな生活を送ってきたY（責任世代）、食や余暇生活などで暮らしの質を高めたいシニア夫妻、自宅暮らしの充実を志向するシニア単身など。



秦講師



セミナー後の交流会

◆第52回ミニセミナー

2024年3月28日 17:00～19:00

大阪市立総合生涯学習センター

- ①「輸送衝撃の解析から得る各ファクターの活用研究」
TOTO(株) 宮城兼一様
- ②「次世代社員の活躍で現場のあるべき姿のイノベーション実現～
DX実践によるデータ活用と2024年について～」
(株)ハンナ 下村裕也様



宮城講師



下村講師

宮城様からは、特に落下試験での実験結果の観察ではなく、数値判定による合否判定について説明いただいた。落下の際、内容物の底付きの有無を数値化・見える化することにより、誰もが合否判定できるようになった。

下村様から2024年問題を抱える物流業界で、人間力重視とIT導入により、次世代が活躍できる機会提供について説明いただいた。現場の作業者がリーダーとなり小さな改善を積み重ね、人財の育成を行っている。特に従来の慣習であった手書き伝票の記載方法を変更し、大きな改善につながった。人財育成は投資であり、次世代とは年齢ではなく、やる気のある人財であることが印象的であった。またITも新たな設備を導入するのではなく、今ある設備を有効活用しているとのこと。



セミナー後の交流会

【副支部長 長崎美智子 紹介】

長崎美智子（46期）です。

株式会社昭和丸筒で営業企画を担当しています。

マーケティングの経験やデジタルツールを活用して、これからも会員の皆様のお役に立つ活動を企画していきます！好きなものは、クラフトビールと古墳・寺社仏閣巡りと阪神タイガースです。



長崎副支部長

◆包装管理士会&W会 第15回合同研究会

2024年7月19日 16:00~18:00

大阪市立総合生涯学習センター

① 「女性活躍と「わたし」」

㈱大林組 山田有香様

② 「化粧品向けキャップの協働型ロボットによる整列作業の実現」

アスカカンパニー㈱ 小倉里奈様

「環境に配慮した容器の開発」

アスカカンパニー㈱ 前川明日香様

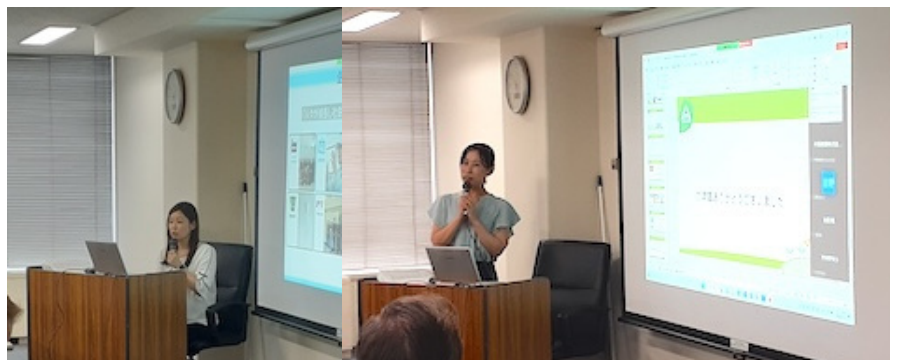
山田様より男性多数の建設業界で、女性が活躍するための「努力と工夫」について、女性を取り巻く環境を振り返りながら自身の経験を紹介いただいた。

小倉様からは化粧品用キャップの箱詰め作業をロボットと人で改善した事例を紹介いただいた。製品を傷付けない包装の実現や自社の画像処理技術を活用したシステムについて説明があった。

前川様からはマテリアルリサイクルの取り組みやモノマテリアル化を視野に入れた開発事例を中心にプラスチック加工メーカーとしての環境配慮について紹介いただいた。



山田講師



小倉講師

前川講師



研究会後の交流会



見学通路



トーク会



道具

『W会 活動紹介 ～見学会～』

W会代表 三笠産業(株) 遠藤明子

女性を中心に活動しているW会は、設立18年目を迎えました。勉強会や見学会で研鑽しながら親睦を深めてきましたが、コロナ禍で中断。しばらくの間は、Webでの勉強会だけでしたが、ようやく見学会を再開しました。

●梅乃宿酒造の新蔵へ

奈良県 葛城市。豊かな自然に囲まれた万葉の地には、初めて日本酒が醸造された、という言い伝えが残っています。この地で、伝統の日本酒造りを継承し、2023年に創業130年を迎えられた梅乃宿酒造株式会社を見学させていただきました。

3月下旬の葛城山麓地方は、まさに梅匂う季節。たくさんの梅の花が迎えてくれました。

今回の目的は、2022年7月にオープンされた新蔵を見学させていただくことと、幼少の頃から酒蔵を庭として成長され、五代目蔵元となられた吉田佳代社長とお話することです。

●吉田佳代社長とのトーク会

まずは、吉田社長が経営責任の立場に進まれた経緯をお聞きしました。大学での学部選択、卒業して社会に出られた最初の職業選択、その異業種企業から梅乃宿酒造で働くことを決意され、最初に配属された営業部門で高い成績を挙げられたとのこと。順風に進まれてこれたのかと思いきや、高成績を続けるための悩み、苦しみの時期があり、そこから抜け出すための変化、さらに経営者を志すまでの道のりは、まさに、山あり谷ありのお話でした。

経営責任者としてのお話はもちろんのこと、子育ても勉強方法も、全て自分流。一人の人間として様々な人生の岐路に立たれた時の選択など、お話ぶりも含めて多くの共感がありました。

お話の後は座談会形式で、お聞きしました。容器包装についても、たくさんの質問がありました。先頃、国内酒類メーカー初のポーションタイプに充填された「あらごしジンジャー」の開発経緯や海外市場へむけた容器のデザイン戦略。守るべきものは守りながら、変えるべきものは変えて、常に新しい酒文化を創造する果敢なチャレンジに、参加者は興味津々でした。

●新蔵見学

新蔵見学は、太い木柱や大きな梁、やや暗めの天井に続く長い見学通路を進みます。最新の建物の中に居るはずなのに、蔵の中と錯覚するような不思議な空間でした。

工程ごとに工夫された説明には、五感に触れる楽しさがありました。精米工程では、それぞれの要件で決められている精米歩合まで磨かれた米粒を「見る」ことで、吟醸、大吟醸の違いを知りました。仕込工程では麹たちが働いている（醸している）音を「聴く」ことで、発酵を感じることができました。見学窓越しに見える最新設備には、守られてきた技が研鑽されている来今を感じ、通路に展示されている伝統的な酒造りの道具には、往古の蔵人の熱気が想像されます。

「道具」

梅乃宿酒造では、酒造りに関わる人は、今も蔵人と呼ばれているそうです。短い見学時間でしたが、酒造りの大切なことが、綿々と受け継がれていることを知り、心綻びたひと時でした。

蔵見学の後は、待望の試飲タイム。お酒を飲めない人には、梅ジュース（絶品！）が振舞われました。

●懇親会

続いての懇親会は、地元メンバーの高木包装さんのお勧め「チャンコ鍋」。葛城市は、相撲発祥の地でもあります。古民家を改造したお店は、元横綱「白鵬関」のプロデュース。元力士の本格的なちゃんこ鍋を囲みながら、楽しく懇親。あっという間の一日でした。



集合写真 ～梅乃宿酒造株式会社新蔵 直営店～

3、関西支部の今後の予定

皆様方の御参加 お待ちしております。

1) 第53回ミニセミナー

2024年9月19日 16:00～ 大阪市立総合生涯学習センター
「脱炭素・BCPに対する取り組み事例」 栗原工業(株) 川田隆之様
「エルゴパックを用いた作業改善の方法」 堀富商工(株) 黒木祥彦様

2) テクニカルセミナー

2024年10月 15:40～ 大阪市立総合生涯学習センター
「環境問題対応と包装設計の在り方」 IPP関西支部運営委員 古井真夫
「防湿・防錆包装講座」 日本化工機材(株) 高橋裕美様

3) 見学&セミナー

2024年11月14日 12:45～ 兵庫県立人と防災未来センター
(セミナー講演者)
・兵庫県立人と防災未来センター 行司高博様
・Jパックス(株)代表取締役 水谷嘉浩様

北海道支部 だより

北海道支部長
會田慶太（47期）

5月20日に北海道支部の総会を終え、新年度の活動がスタートしました。2023年5月に新型コロナウイルスが5類感染症となり、これまで制限を受けていたあらゆる活動がまだ様子を見ながら・・・ではありますが再開を致しました。当活動においては、JPI共催で包装懇話会、賀詞交歓会を開催することができました。例年開催の納涼合同親睦会の開催は様子を見て中止としましたが、以前の社会を取り戻しつつあります。一方でインバウンドの動きは完全に回復しており、街中では海外の方を見る場面が多くなってきました。この7月においては、避暑地として選択していただく方が多々いらっしゃる、名だたる観光地は海外客および国内観光客でいっぱいとなっております。もうコロナの話題を記載するのはこの回が最後であるかなと考えております。

さて、インバウンドが回復し元気を取り戻した北海道では、一難去ってまた一難の状況となっております。昨夏、北海道は過去にないくらい猛暑に襲われました。本来は冷涼な地ですから、当然その気候に合わせた社会が作られておりますが、経験をしたことのない猛暑により、熱中症患者の急増、農作物の障害、水産物の不漁等の問題が発生しました。さらには、アルプス処理水に過剰に反応した中国の輸入規制により、北海道の主力水産物であるホタテの行き場も失い、合わせた被害は相当大的なものになりました。2024年に入り、その影響が少しずつ緩和されつつありますが、北海道経済はまだ回復の途中であると肌で感じております。一次産業の影響を強く受ける北海道の包装業界では、何とかこの2024年が本当の意味でアフターコロナ。完全回復となって欲しいと願っております。

一方で当支部の活動ですが、本年はコロナ前の活動同様に運営していきたいと考えております。特に納涼合同親睦会の開催は、開催できなかった期間が長かったため、新たな出会いもあると思っております。交流を深め支部活動を本格的に再稼働させたいと思っております。

2024年7月22日

つつむ君から の手紙



「ippニュース」に関するお知らせ

日本包装管理士会の会報「ippニュース」は、年2回の発行をしています。昨年度まで、夏号は電子発行、冬号は印刷を行って全会員に郵送してきました。今年度は、総会の議案書でもお伝えのとおり、厳しい予算管理を踏まえ、夏号・冬号とも電子発行（ホームページにPDFファイルを掲載）となりました。

紙による機関誌を楽しみにされていた会員各位には大変申し訳ありません。その代わりと言ってはなんですが、カラーで見やすい紙面、写真豊富な活動報告、充実したコンテンツをお届けするよう心がけたと思います。今後も「ippニュース」を見守っていただけると大変助かります。

また、活動内容をもっとたくさん発信したいと思われている支部の役員さんもおられるかと思います。そんなご要望にも寄り添い検討を進めていきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、WEB展開では、メールによるお知らせが不可欠になります。会員様によっては、事務局にメールが戻ってしまいうケースが発生しています。今一度、メールソフトのフォルダ確認と設定確認をお願いいたします。もしメールが届かない方は、事務局（ipp@pk9.sonet.ne.jp）までお知らせください。

関東支部 だより

第1回スキルアップセミナー

2024年2月14日開催

課題形成と課題解決

報告：大瀧健司（38期）

講師は元（学）産業能率大学 主幹研究員の榮口 正孝先生

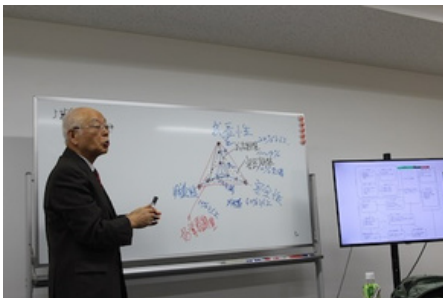
目的：研究会参加者の皆様に経営や現場における様々な問題解決にあたり、何が問題か解決の課題形成の重要性を再認識していただくことを狙いにしました。

問題とは経営や製造現場に、始めは「おかしいな？なぜだろう？」から始まります。その疑問を原因究明や原因の構造化を進め、あるべき姿との距離・ギャップが生じていることが本質的な問題発見となり、それが課題です。

課題は幾つかありますが優先順位を決め、課題の理論的仮説を作り解決策の模索と思考のポイントは、

- ①環境の変化（組織を取り巻くマクロ、ミクロの環境）、
- ②組織体質（体質把握：自組織の強み、弱みと定量的体質）、
- ③問題発見（現象の把握、原因、背景の把握で問題の明確化）、
- ④将来に渡っての課題（同じ問題を発生させずに効率よい経営や製造工程を確立するための課題）

を事例で講義していただき、有意義な時間を得ました。



第2回スキルアップセミナー

2024年3月14日開催

テーマ：「無意識から考えるデザイン」

～ イグ・ノーベル賞からフェーズフリーデザインまで」

報告：古平 篤(25期)

講師：松崎 元 先生

千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 教授



講師は、2022年にイグ・ノーベル賞・工学賞を受賞。受賞の内容とイグ・ノーベル賞とは、どのようなものかについてのお話をいただきました。

我々は、普段の生活の「日常時」と自然災害や人為災害の「非常時」を繰り返すサイクルの中で暮らしています。災害や事故のたびに「備え」の意識は高まっていますが、なかなか具体的な行動につながりません。

そこで発想を転換して、非常時に備えるのではなく、日常時に利用している商品やサービスを非常時にも利用することができて、人の安全や安心を守ってくれる、というフェーズフリーの考え方を研究し、使用時と非使用時、日常時と非常時など、身の回りの製品が様々なフェーズで価値を発揮できるよう研究成果をもとに商品の企画・デザイン、開発を行い、多くのグッドデザイン賞も受賞しております。これらを講師の研究を説明していただき、特に包装に関しての例を交えてお話しいただきました。参加者はWEBと会場参加合わせて約20名の方が参加しました。

IPP写真研究会 活動報告

IPP写真研究会会長 荒牧 哲(23期)

当研究会は写真を通じて楽しさを共有する親睦の集まりです。

1. 「桜」に合わせて撮影会を実施

2024年3月29日に東大小石川植物園とソメイヨシノ発祥地に近い六義園を巡りました。当日午前は時々雨でしたが、温室で雨宿りし、昼からは大名庭園を回遊しました。人出はさほど多くなく、各自思い思いのアングルで撮影ができました。懇親会は巣鴨に移動し、お値打ちの中華のコースを楽しみました。

2. 横浜の洋館で写真展を11月に開催

横浜の観光スポットの山手の洋館で今年も写真展を開きます。

作品サイズはA3とし、顧問の写真家の添削指導を受け作品を仕上げます。ぜひ来場ください。

・写真展への参加者募集

管理士会会員でご自分の写真を展示したい方は、ipp.kanto.pack.50@gmail.com へ連絡ください。

展示(募集)作品の概略：サイズA3、指定フレーム入り、2点以内

(告知) 第19回 楽しい写真展

日時 2024年11月15日金曜日

から11月18日月曜日

9時30分から17時

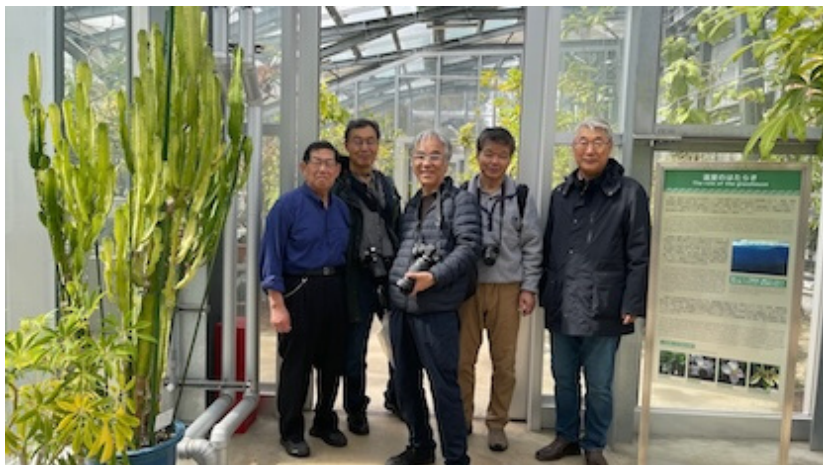
(初日15日は13時から、

最終日18日は15時まで)

会場 横浜山手234番館2階ギャラリー

みなとみらい線 元町中華街駅

アメリカ山出口から徒歩7分



小石川植物園温室での雨宿り

【関東支部 新理事紹介】

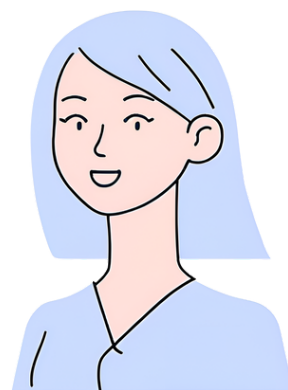
就任のご挨拶

理事 小林菜穂子（58期）

この度、関東支部の理事に就任させていただくことになりました、三菱ガス化学株式会社の小林菜穂子と申します。包装管理士58期で、現在包装専士講座を受講中です。

様々なご縁があり、理事に就任させていただけることになり、非常に光栄です。包装管理士の資格取得者の包装管理士会入会率を上げるために、少しでも本会に興味を持っていただけるような企画を立案できるよう努めます。ひそかな野望ではありますが、将来は日本の包装界をより盛り上げていけるような人材になることが目標です。

社会人歴、包装人歴は非常に浅いですが、包装管理士会の発展に貢献できるように頑張りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



上記イラストは、AIで生成しました。日本包装管理士会



浅草・一之亀

食べ歩きの会 （実施日：2024年3月13日、水曜日）

報告：福野壽史（16期）

香川県の名物「骨付鳥」の専門店「浅草・一之亀」で開催した。一之亀は骨付鳥の他、鳥めし、つくね、しょうゆ豆など一品料理を食することができる店として8年ほど前にオープンしたそうです。骨付鳥メニューには「親とり」と「ひなとり」があり筆者の感想では、親とりは歯ごたえがありしっかりと味付けです。ひなとりは、親とりと比べて食べやすく優しい味で、それぞれの長所があるように感じました。個人的には、好みにもよりますが親とりを食するのがお勧めです。

昨年の理事会で提案され発足した「食べ歩きの会」は、コミュニティ活性化の一環で第1回目として開催され、会員相互の親睦を目的とし、担当は2名体制とすることで決まりました。しかし、初回実施で店舗も浅草という東京の東寄りに位置していることもあり、また実施要項でも対象を役員のみとしたこともあり、参加者は3名と、少人数でした。

今後、親睦の会として会員の皆様に参加いただくためには「どのような企画で実施できるのか」が課題です。皆様にご協力をいただくことも含め、活性化につながることを切望いたします



関東支部・理事研修会を開催

報告：古平 篤(25期)

関東支部の理事研修会が8月2日(金)～8月3日(土)に那須塩原市の塩原温泉にある「ホテルニューもみぢ」で行われました。今回は「新理事の増員について?」と「会員が沢山参加するイベントとは?」の2つのテーマを話し合いました。普段の理事会と違い、リアルで連続した2日で論議でき、実行すべきアイデアが種々出ました。今回参加できなかった理事も加わり検討し、アイデアの具体化を順次進め、関東支部の活動を盛り上げて行きます。



本部だより

副会長
道明 誠 (23期)

総会も無事に終わり、古平新会長のもとで2024年度がスタートしました。昨年度発足したIPP再構築WG委員会では、全国の役員の皆様から多くの意見やアイデアが寄せられ、活発な意見交換が行われました。しかしながら、再構築の結論には至りませんでした。我々IPPは500人以上の会員を擁する任意団体であり、ボランティア活動が主体の組織ですので、簡単に結論を引き出すことは難しいと感じました。過去から引き継がれた考え方や地域間の考え方の違い、「公正」という名の機会不平等が、2023年度の委員会で明らかになりました。また、基金のあり方についてもさまざまなご意見が出されました。これらの中には意見の違いも見られるため、皆さんが納得できる解決策を見つけるのは簡単ではないかもしれません。

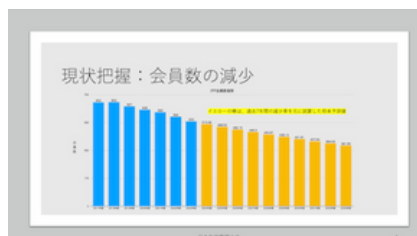
IPP再構築WG委員会は、引き続き2024年度も討議を重ね、新たなIPPを目指します。委員各位、そして全国の役員さんの活発かつ互いを理解した有益なご発言を期待したいと思います。



IPP再構築委員会
WG

- 2023年度 IPP再構築委員会は総会に
あらず、2024年度へ継続審議
となった。
- 2024年度はWG委員長ならび
に委員は同一のメンバーで構
成し、審議を継続することと
した。
- 2024年度内にIPP再構築案を
まとめ、2025年学定の第59回
本部総会にて、全会員に対し
機密案を提示し、新体制と新
たな予算を発表する。

日本包装管理士会
IPP再構築委員会WG
2023年度の活動報告



委員会における今後の協議内容	
運営財源の健全化 ・年会費改定について再協議 ・予算配分見直し・報告の再確認 ・本部経費の開示案等 ・基金支出・有効活用協議 ・余剰金・繰越金に関する合意形成 ・規則明文化 ・重課制に関する検討	魅力ある事業運営 ・2023年に決めた対策案の未着実事項の再確認と実施見通しの具体化検討 ・IPP活動活性化に向けた新たな施策の抽出と実施計画の立案
事務局からの検討要請 ・会報増刊の必要予算（基金関連）と ・報知スキームの明文化	

編集後記



2024年は台湾・総統選挙に始まり、世界中で選挙の年。7月にはトランプ元大統領の暗殺未遂事件という衝撃的なニュースが飛び込んできました。地政学的リスクが深まる混沌とした世界情勢ですが、今年は大きな曲がり角となるのでしょうか？

曲がり角と言えば、先日、「辻回し」と呼ばれる技を初めて見ました。これは京都の祇園祭で行われる山鉦巡行の見せ場で、10トンを超える巨大な山鉦が道路の交差点で90度回る迫力ある大技です。割った竹を下に敷き、水をかけて、その上を滑らせながら鉦を回転させます。「辻回し」を行うのは車方と呼ばれる男衆ですが、ベテランの車方でも大変緊張するそうです。「エンヤラヤー」の掛け声と共に、山鉦が軋みながら回転すると、拍手と歓声が湧き起こります。力を合わせ鉦が動く瞬間、観ている聴衆の我々も大きな感動を覚えました。

さて、IPPもベテランの先輩役員が引退され、大きな曲がり角にきています。IPP事業も感動を覚える瞬間を会員の皆様と共に創出したいと考える今日この頃でございます。
(23期 道明 誠)

日本包装管理士会

/Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
<https://www.ippj.net/>

■本部	〒 104-0045	東京都中央区築地4-1-1-東劇ビル10F 日本包装技術協会内	TEL : 03-3543-9250 FAX : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0001	札幌市中央区北一条西2丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内/日本包装技術協会・北海道支部内	TEL : 011-241-8591 FAX : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社東北ウエノ内	TEL : 0191-21-4531 FAX : 0191-21-5381
■関東支部	〒 115-0051	東京都北区浮間1-7-17 ※古平 篤 関東支部長宅	ipp.kanto.pack.50@gmail.com
■中部支部	〒 460-0003	名古屋市中区錦3-5-21 錦HOTELビル 3D 日本包装技術協会内	TEL : 052-228-2930 FAX : 052-228-2980
■関西支部	〒 550-0014	大阪市西区北堀江1-1-27 イマイビル4階	携帯 : 090-4305-3906 (桃川) FAX : 06-6584-8986
■西日本支部	〒 849-0917	佐賀県佐賀市高木瀬町長瀬870-1 ※八田 彰 西日本支部 事務局長宅	携帯 : 090-4586-7509 tsubonoue2019@gmail.com

日本包装管理士会 会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 FAX: 03-3543-8970 ☎03-3543-9250

フリガナ		会員番号	番
氏名		届出日	令和 年 月 日
会社	社名 所属 住所 〒 TEL E-mail	FAX	
自宅	住所 〒 TEL E-mail	FAX	